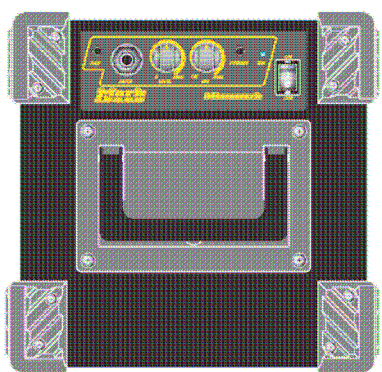


マークベース 取扱説明書 Micromark



1. はじめに

このたびは、マークベースをお買いいただき、誠にありがとうございます。私どもはアンプのテクノロジーまたデザインや形に重点をおくだけでなく、ベースистにとって本当に必要とされるアンプの研究を進めてきました。その結果、高品質な音と魅力的なデザインを持ち、超軽量なヘッドやアンプを開発することができたのです。

マークベースのアンプは、きわめて厳格なテストをパスしたものですので、クラブ、リハーサル会場やコンサートのステージはもちろんのこと、運搬時の過酷な環境にも耐えるうる性能を持っています。もちろん、適切に取り扱うことで、きわめて長い期間にわたって輝かしく、リッチでパワフルなベーストーンを楽しめることはいうまでもありません。

クリアでパワフルなこのアンプがあなたにインスパイアを与え、結果としてよりよい音楽がプレイされること。それこそが我々にとってのミッションの達成、といえるものなのです。それでは、あなたの新しい友・マークベースをエンジョイしてください！

1. マルク・デ・ヴァージリスからのメッセージ

それは何年も前のこと、私がイタリアでマークベースの製品コンセプトについて想いをめぐらせていた頃から、私には一つのはっきりした目標があったのです。それは、世界中のプロフェッショナル・ベースプレイヤーの要求を満たす、トップ・クオリティのベースアンプを創り出さなければならぬ、ということでした。そしてまた私が思い描くアンプは、コンパクトかつ軽量で、パッシブ/アクティブタイプの多弦ベースが作り出す低域にも対応しうる製品でなければならぬと考えていました。幸いなことに、小型のトランスやネオジウムスピーカーといった現代のテクノロジーの恩恵によって、私はついに目標を達成することができたのです。

マークベース・アンプの回路はベース本来のサウンドに色づけすることなく、楽器それぞれが持つ音質を忠実に再生できるよう、特別に設計されたものです。私はマークベース製品をより良いものにするため、世界中のさまざまなプロベースプレイヤーと密接な関係を持ちながら開発を続けてきました。

こうして今、世界中のベース・プレイヤーの要求に応える製品として、マークベースのアンプ、キャビネットのラインアップは確立されたと私は確信しています。

マークベースをご購入いただき誠にありがとうございます。そして、ご購入いただいたアンプが、あなたのサウンドをアップグレードさせる一助となることを願ってやみません。また、さまざまなシチュエーションでマークベースをご使用いただく中で、何かお気づきの点がありましたら、今後の開発の参考とさせていただきますので、ぜひとも私共にお伝えください。

ともかくは、音楽をエンジョイしてください！

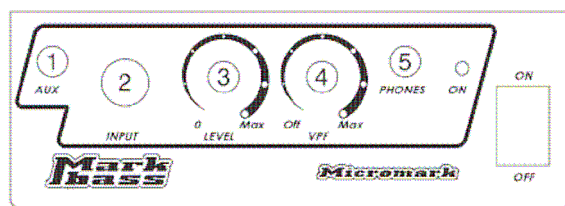


マルク・デ・ヴァージリス
マークベース：イタリー
www.markbass.it

2. 製品概要

マークベース・マイクロマークは、ソリッドステート・タイプのプリアンプ部とアナログパワーアンプを装備したハイクオリティなベースアンプです。オプションのサテライトツイーターは、リアパネルに取り付けられており高音域を、強調する設計となっております。

2.1 トップパネル



INPUT

INPUT ジャック(2)は、スタンダードな楽器用ケーブルに対応しています。

Volume

始めに LEVEL(3)を 0 にもっていき、時計回りに動かし好みの音量に調節します。

VPF

ライブやスタジオでのミキシング・コンソールに接続する背面のラインアウト XLR(24)の音量を、LINE OUT (4) ノブで調節します。この VPF を調節することにより、ロックやスラップベースをさらにきわだたせることができます。ヴォリュームが高い時、この VPF を上げるにより低域が増し、出力の量が制限されます。

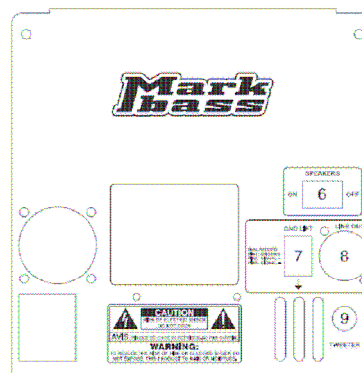
AUX IN

AUX(1)を、ミニプラグ(1/8")を使用し CD プレーヤーや MP3 にご利用ください。ヴォリュームをコントロールする LEVEL が INPUT と一緒になっているので、同時にご利用になる時には、音量をうまく調節してください。

HEADPHONE JACK

ヘッドフォンを使用したい時は、ヘッドフォンをミニプラグ用(1/8")PHONE(5)にプラグインしてください。ヘッドフォン使用中でも、リアパネルのスピーカースイッチを OFF にしない限りスピーカーから音は出力されます。音量調節は、LEVEL(3)かまたは、ベースのヴォリュームノブで行ってください。

2.2 リアパネル



SPEAKER ON/OFF

(6)のスピーカースイッチを使用し、アンプのスピーカーの ON/OFF を切り替えてください。(ヘッドフォン使用時)

LINE OUT

(8)のラインアウトは、レコーディングやライブの環境に使用します。サウンドボードやミキサーなどに接続することができます。

GROUND LIFT

もしハムノイズを発見した時は、(7)の GND LIFT を変更しノイズを消すことができます。

TWEETER OUT

(9)は高域を増すサテライトツイーター用のジャックです。送られてくる周波数は 70Hz から 18kHz の音域です。

3. MicroMark 詳細

INPUTS	
INPUT	impedance: 500 Kohm, max. voltage: 8 Vpp
AUX INPUT	impedance: 33 Kohm, max. voltage: 20 Vpp
CONTROLS	
VOLUME(LEVEL)	-60 dB to +25 dB range
GROUND LIFT	switch on rear panel
SPEAKER ON/OFF	switch on rear panel
EQUALIZATION	
VPF(Variable Pre-shape Filter)	center frequency 380Hz
OUTPUTS	
LINE OUT	balanced XLR, max. voltage 10 Vpp
HEADPHONE OUT	1/8" mini plug, max voltage 12 Vpp (30 ohm); 45 Vpp (600 ohm)
OTHER	
SPEAKER	1x6" neodymium woofer
TWEETER	optional tweeter plugs into jack on rear panel
PREAMP	Solid state
POWER AMP	Analog
POWER SUPPLY	Digital
HEIGHT	8.86 in. / 22.5cm
DEPTH	8.62 in. / 21.9cm
WIDTH	8.86 in. / 22.5cm
WEIGHT	9.26 lbs / 4.2kg
OUTPUT POWER	50W RMS @ 8ohm
POWER REQUIREMENT	120/240V or 100V 50/60Hz
FUSE	
EUROPE	1 A 250V T 5x20
AUSTRALIA/UK	1 A 250V T 5x20
USA/CANADA	1 A 250V T 5x20
JAPAN	1 A 250V T 5x20

<注意！>

- * 感電を避けるため、アンプは水滴の落ちる場所や水の飛びはねる場所に近づけないでください。万が一本体または本体内部に水がかかった場合は、すみやかに電源を切り、修理をご依頼ください。
- * コードの接続は必ずギターから先に行い、アンプをその後に行ってください。アンプから先に接続すると、スピーカーを破損する原因となります。
- * ヒーター等の熱源を本体に近づけないようにしてください。
- * アンプのボリュームを上げたまま楽器またはマイクを放置しないでください。
- * ネオン灯や蛍光灯の近くで使用すると、かすかにハム音が発生することがあります。楽器やアンプの位置を変えることによって、ハム音が消える場合がありますのでお試しください。

[markbass_manual_micromark]

<http://www.markbass.it/>

輸入販売元 荒井貿易株式会社

<http://www.ariaguitars.com/jp/>

〒464-8691 名古屋市千種区神田町 12-2 Tel. (052)711-3311 (代)
東京 (03)3268-8221 大阪 (06)4704-5801 名古屋 (052)722-7171